

The TORAY logo is displayed in a bold, blue, sans-serif font. The letters 'T' and 'Y' have a distinctive slanted top edge. The logo is positioned in the upper right quadrant of the slide.

Innovation by Chemistry

2021年3月期第3四半期決算の概要

2021年2月9日

東レ株式会社

2021年3月期の第1四半期から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。また比較年度数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

目次

I . 2021年3月期第3四半期決算の概要	3
II . 2021年3月期連結業績見通し	18
III . 参考資料	22

I . 2021年3月期第3四半期決算の概要

2021年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	20年3月期 第3四半期 (10~12月)	21年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	5,275	5,081	-194 (-3.7%)	15,866	13,642	-2,224 (-14.0%)
事業利益	327	329	+2 (+0.5%)	1,041	670	-372 (-35.7%)
(売上収益事業利益率)	6.2%	6.5%	+0.3 ポイント	6.6%	4.9%	-1.7 ポイント
非経常項目	▲ 18	▲ 22	-4	▲ 48	▲ 308	-259
金融収益及び費用	6	▲ 0	-6	▲ 5	▲ 24	-19
持分法による投資利益	26	38	+12	87	91	+3
税引前利益	341	344	+3 (+1.0%)	1,076	429	-647 (-60.1%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	241	234	-7 (-2.7%)	750	279	-471 (-62.8%)

為替レート		(20/3 3Q)	(21/3 3Q)	(20/3 3Q累計)	(21/3 3Q累計)
<円/US\$>	期中平均	108.8	104.5	108.7	106.1
	期末	109.6	103.5		
<円/ユーロ>	期中平均	120.3	124.5	121.1	122.4
	期末	122.5	127.0		

非経常項目

億円

	20年3月期 第3四半期 (10~12月)	21年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
固定資産売却益	0	1	+0	2	2	-0
固定資産処分損	▲ 15	▲ 12	+3	▲ 33	▲ 43	-9
減損損失	▲ 3	▲ 10	-7	▲ 15	▲ 267	-251
その他	0	-	-0	▲ 1	-	+1
非経常項目	▲ 18	▲ 22	-4	▲ 48	▲ 308	-259

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	20年3月末	20年12月末	増減
資産合計	27,335	27,731	+396
流動資産	11,519	11,871	+352
有形固定資産	9,692	9,628	-64
その他	6,124	6,232	+108
負債合計	15,327	15,396	+69
流動負債	6,760	7,056	+296
非流動負債	8,567	8,341	-227
資本合計	12,008	12,335	+327
自己資本*	11,161	11,507	+346
自己資本比率*	40.8%	41.5%	+0.7ポイント
有利子負債残高	9,910	10,157	+247
D/Eレシオ	0.89	0.88	-0.01

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,443	1,246	-197
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,031	▲ 721	+310
フリー・キャッシュ・フロー	412	525	+113

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

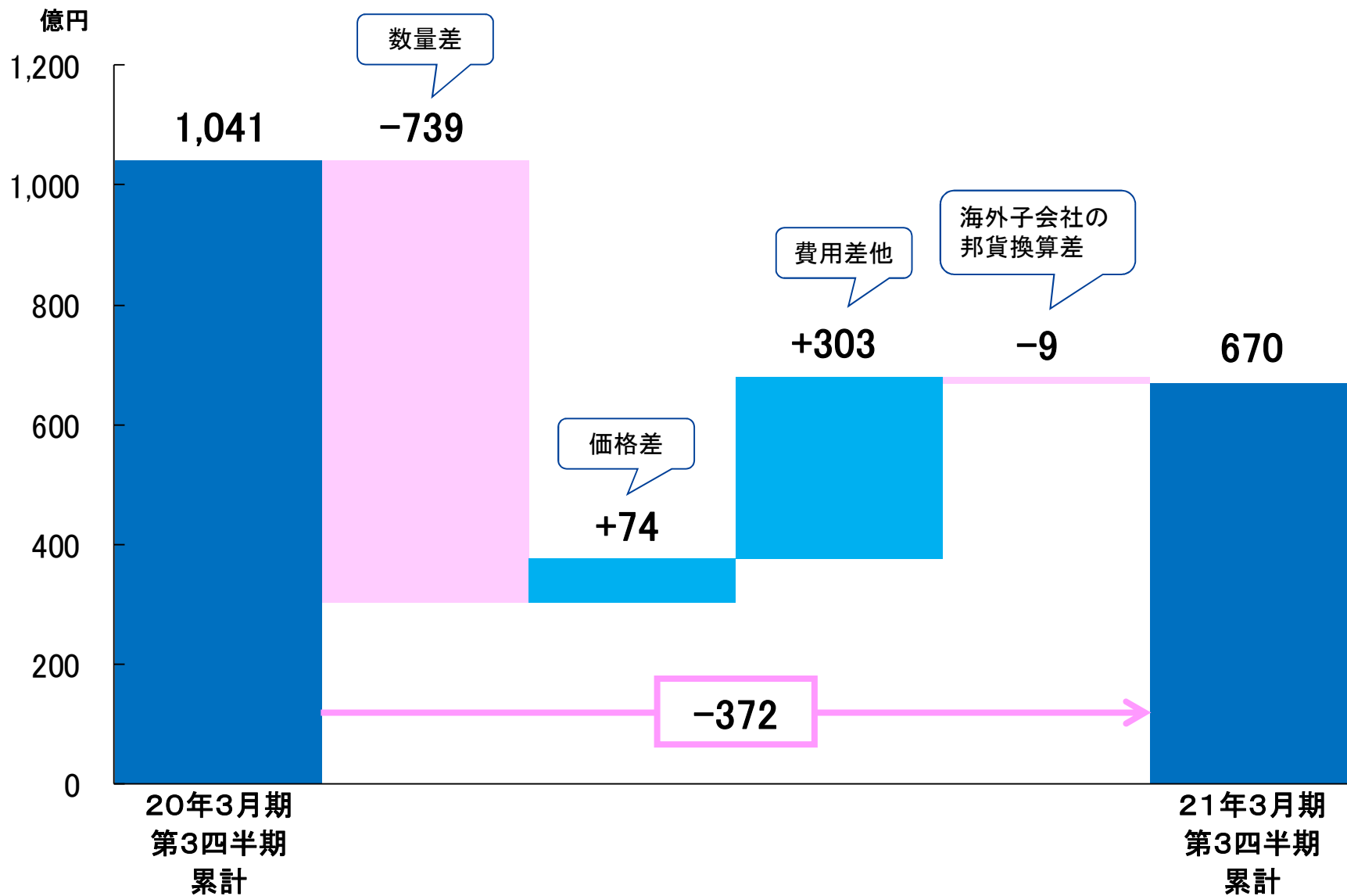
億円

	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
設備投資額	1,001	938	-62
東レ	247	213	-34
連結子会社	754	725	-28
減価償却費	875	887	+12
東レ	285	291	+7
連結子会社	590	596	+6
研究開発費	486	449	-37
東レ	354	334	-20
連結子会社	131	114	-17

主な設備投資案件

Toray Industries Hungary Kft.	: バッテリーセパレータフィルム“セティーラ [®] ”生産設備
Toray Plastics (America), Inc.	: ポリプロピレンフィルム生産設備
Toray Membrane (Foshan) Co.,Ltd.	: RO製膜生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

		20年3月期 第3四半期 (10~12月)	21年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	繊維	2,190	2,061	-129 (-5.9%)	6,413	5,363	-1,049 (-16.4%)
	機能化成品	1,879	1,926	+47 (+2.5%)	5,820	5,199	-621 (-10.7%)
	炭素繊維複合材料	596	456	-140 (-23.5%)	1,795	1,349	-446 (-24.8%)
	環境・エンジニアリング	432	464	+32 (+7.5%)	1,304	1,246	-58 (-4.4%)
	ライフサイエンス	138	137	-0 (-0.3%)	403	384	-19 (-4.8%)
	その他	41	37	-4 (-8.6%)	131	100	-30 (-23.3%)
	合計	5,275	5,081	-194 (-3.7%)	15,866	13,642	-2,224 (-14.0%)
事業利益	繊維	163	122	-41 (-25.4%)	480	280	-200 (-41.7%)
	機能化成品	138	236	+98 (+71.1%)	470	476	+6 (+1.4%)
	炭素繊維複合材料	63	▲ 34	-97 (-)	181	▲ 37	-218 (-)
	環境・エンジニアリング	17	40	+23 (+135.8%)	55	80	+25 (+44.9%)
	ライフサイエンス	6	9	+4 (+72.2%)	16	18	+2 (+9.3%)
	その他	7	12	+5 (+77.8%)	20	17	-3 (-14.9%)
	調整額	▲ 66	▲ 56	+10	▲ 181	▲ 164	+17
	合計	327	329	+2 (+0.5%)	1,041	670	-372 (-35.7%)

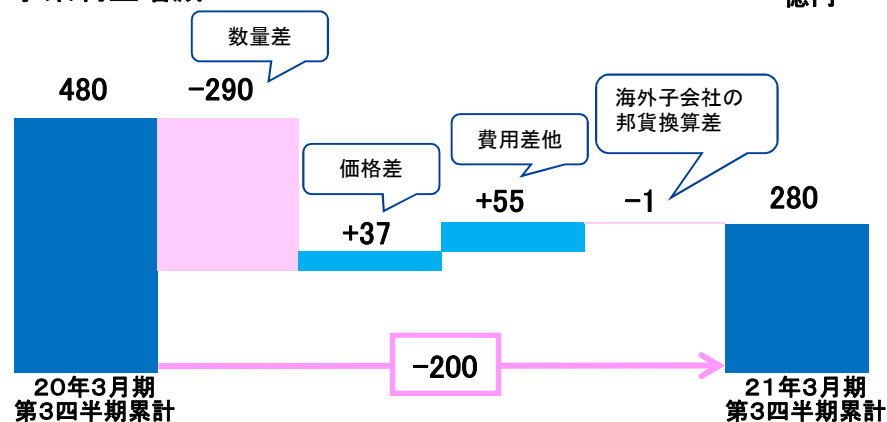
セグメント別業績(繊維)

億円

		20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,390	1,065	-325 (-23.4%)
	国内	3,595	2,998	-598 (-16.6%)
	海外	3,786	3,195	-591 (-15.6%)
	修正	▲ 2,359	▲ 1,894	+464
	計	6,413	5,363	-1,049 (-16.4%)
事業利益	東レ	106	26	-80 (-75.0%)
	国内	96	73	-23 (-23.8%)
	海外	273	172	-101 (-36.9%)
	修正	4	7	+3
	計	480	280	-200 (-41.7%)

事業利益増減

億円



< 概況 >

■全般

- ・国内外ともに新型コロナウイルスによる生産活動・消費行動停滞の影響を受けた。
- ・医療用白衣地やマスク用途での不織布需要の増加に加えて、第3四半期には自動車関連用途において回復の動きが見られたが、総量の減少をカバーするにはいたらず。

■衣料用途

- ・各国でのロックダウンや過剰な流通在庫から需要が低迷。

■産業用途

- ・一般資材用途が低調に推移し、販売数量が減少。

<トピックス>

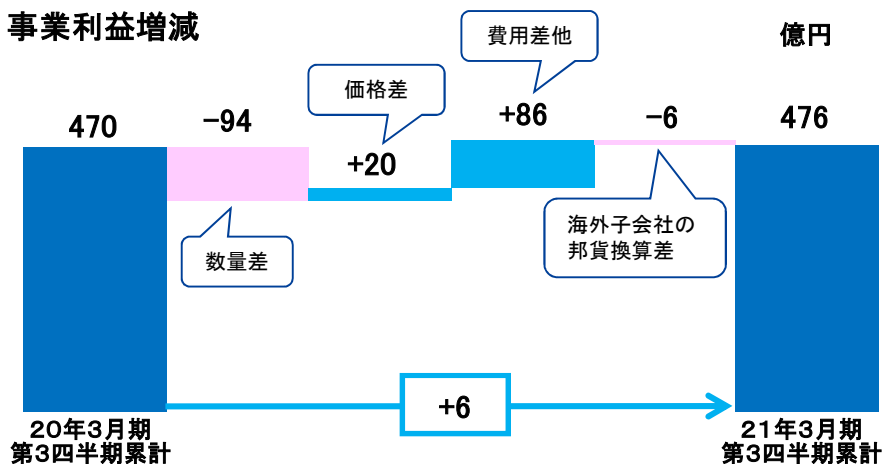
- ・ 20年10月：
優れた洗濯耐久性と着用快適性を有する抗ウイルステキスタイル「MAKSPEC®V」を開発。2021年1月から販売を開始。
- ・ 20年10月：
ナノテクノロジーを応用した臭いの元を抑制する消臭テキスタイル「MUSHON® 4X」を開発。2020年11月から販売を開始。
- ・ 20年11月：
複合紡糸技術NANODESIGN®を駆使し和紙のような風合いと機能性を両立したテキスタイル「Camifu™」を開発。2022年春夏シーズン向けから販売開始予定。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,691	1,545	-146 (-8.6%)
	国内	3,170	2,753	-418 (-13.2%)
	海外	3,562	3,407	-154 (-4.3%)
	修正	▲ 2,603	▲ 2,506	+97
	計	5,820	5,199	-621 (-10.7%)
事業利益	東レ	96	88	-8 (-8.6%)
	国内	120	98	-22 (-18.5%)
	海外	264	295	+32 (+12.0%)
	修正	▲ 10	▲ 4	+5
	計	470	476	+6 (+1.4%)

事業利益増減



<概況>

■樹脂事業

・新型コロナウイルスによる生産活動停滞の影響を受けたが、第3四半期には自動車メーカーの稼働および中国経済の回復を受け、需要が好調に推移。

■ケミカル事業

・基礎原料の市況が回復傾向となった。

■フィルム事業

・リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムが市況価格低下の影響を受けたが、ポリエステルフィルムでは光学用途や電子部品関連が好調に推移。

■電子情報材料事業

・回路材料が低調に推移したが、第3四半期は有機EL関連の需要が増加。

<トピックス>

・ 20年11月：
金属リチウム負極電池の安全化により、電池容量の大幅向上に貢献するリチウムイオン二次電池(LiB)用無孔セパレータの創出に成功。次世代LiB分野への展開を目指し、早期の技術確立に向け研究開発を加速。

・ 20年12月：
サステナブルな社会の実現に貢献する環境配慮型ポリエステルフィルム「Ecouse®」シリーズを開発。年産2,500t規模の生産体制を整え、本格販売を開始。

機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	2,449	29%	2,188	28%	-11%
フィルム	2,350	28%	2,230	29%	-5%
電子情報材料	529	6%	498	6%	-6%
商事他	3,095	37%	2,790	36%	-10%
修正	▲ 2,603	-	▲ 2,506	-	-
合計	5,820		5,199		-11%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

		20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	836	512	-324 (-38.8%)
	国内	571	348	-223 (-39.1%)
	海外	1,560	1,090	-470 (-30.1%)
	修正	▲ 1,171	▲ 600	+571
	計	1,795	1,349	-446 (-24.8%)
事業利益	東レ	107	▲ 22	-129 (-)
	国内	12	9	-4 (-29.2%)
	海外	93	▲ 16	-110 (-)
	修正	▲ 32	▲ 7	+25
	計	181	▲ 37	-218 (-)

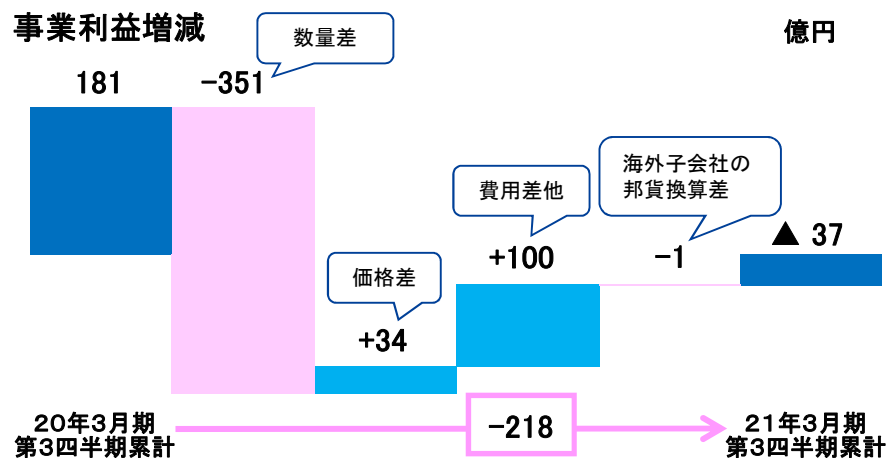
< 概況 >

■全般

- ・航空宇宙用途において、民間旅客機のビルドレートが減少した影響を受けた。
- ・一般産業用途では、風力発電翼用途が堅調に推移。

<トピックス>

- ・20年12月：
三井海洋開発株式会社と、浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備(FPSO)、及び浮体式海洋石油・ガス貯蔵積出設備(FSO)向けに、炭素繊維複合材料を用いた補修技術を共同で開発。腐食による減厚部への標準的補修法として、アメリカ船級協会の承認を取得。



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

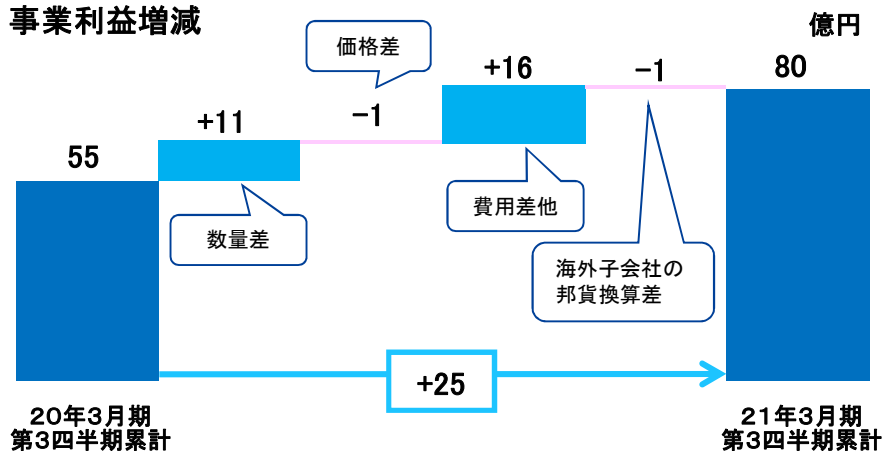
	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	824	45%	484	36%	-41%
スポーツ	135	7%	109	8%	-19%
一般産業	836	48%	757	56%	-9%
合計	1,795		1,349		-25%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	203	222	+19 (+9.4%)
	国内	1,523	1,464	-59 (-3.9%)
	海外	264	280	+17 (+6.3%)
	修正	▲ 687	▲ 721	-34
	計	1,304	1,246	-58 (-4.4%)
事業利益	東レ	▲ 3	12	+15 (-)
	国内	21	28	+7 (+36.3%)
	海外	38	44	+5 (+13.9%)
	修正	▲ 1	▲ 3	-3
	計	55	80	+25 (+44.9%)

事業利益増減



< 概況 >

■水処理事業

・一部地域への出荷において新型コロナウイルスの影響があったが、逆浸透膜などの需要は概ね堅調に推移。

■国内子会社

・エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連装置の出荷が減少したが、建設子会社において大型工事案件進捗や不動産物件の完工による収益計上があった。

<トピックス>

・ 20年11月：
バーレーン王国とアラブ首長国連邦の海水淡水化プラント向けに、あわせて91万m³/日の大規模な造水量を生む逆浸透(RO)膜の受注を獲得。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	190	177	-13 (-6.8%)
	国内	308	308	-0 (-0.0%)
	海外	106	100	-6 (-5.5%)
	修正	▲ 201	▲ 201	-0
	計	403	384	-19 (-4.8%)
事業利益	東レ	▲ 1	▲ 5	-4 (-)
	国内	9	18	+9 (+96.6%)
	海外	5	5	+0 (+6.1%)
	修正	3	▲ 1	-4
	計	16	18	+2 (+9.3%)

< 概況 >

■医薬事業

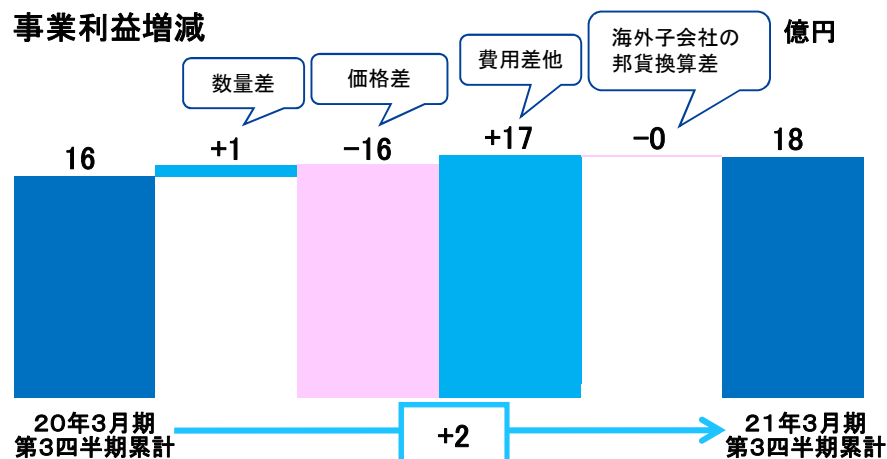
・経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、昨年4月の大幅な薬価改定の影響を受けた。

■医療機器事業

・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療機関での不急の手術先送りの影響がある中、ダイアライザーは国内外で堅調な出荷となった。

*レミッチ®は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

事業利益増減



主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	20年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	21年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル	4,504	3,751	-753	100	84	-16	
東レエンジニアリング	760	620	-141	15	6	-9	
東レ建設	264	282	+18	▲ 4	10	+13	
東レフィルム加工	288	270	-18	20	29	+9	
在東南アジア・子会社	繊維	1,038	699	-339	42	▲ 26	-68
	機能化成品	664	605	-59	47	119	+72
	その他	1	1	-0	0	0	-0
	計	1,703	1,304	-398	89	93	+4
在中国・子会社	繊維	1,676	1,573	-103	165	144	-22
	機能化成品	612	652	+40	23	35	+11
	その他	281	277	-4	20	26	+5
	計	2,570	2,502	-68	209	204	-5
在韩国・子会社	繊維	629	575	-54	23	67	+44
	機能化成品	1,194	1,081	-113	189	158	-30
	その他	213	160	-53	28	22	-6
	計	2,036	1,816	-220	240	247	+7

Ⅱ. 2021年3月期連結業績見通し

2021年3月期連結業績見通し

新型コロナウイルスの影響を踏まえた業績見通しの前提

新型コロナウイルスの感染拡大は、減速と再拡大を繰り返しながらも収束に向かい、国内外の経済は、緩やかな回復基調を辿ることを前提としている。

		20年3月期 実績	21年3月期 見通し	増減	前回見通し	前回見通し との差異*
売上収益	上期	10,591	8,561	-2,030 (-19.2%)	8,561	—
	下期	10,321	10,139	-182 (-1.8%)	10,039	+100
	通期	20,912	18,700	-2,212 (-10.6%)	18,600	+100
事業利益	上期	714	341	-373 (-52.3%)	341	—
	下期	541	559	+18 (+3.3%)	459	+100
	通期	1,255	900	-355 (-28.3%)	800	+100
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	509	45	-464 (-91.2%)	45	—
	下期	333	345	+12 (+3.6%)	295	+50
	通期	842	390	-452 (-53.7%)	340	+50
基本的 1株当たり 当期利益	上期	31.82円	2.79円	為替レートの前提 105円/US\$		
	下期	20.83円	21.58円			
	通期	52.65円	24.37円			
1株当たり 配当金	上期	8.00円	4.50円	*前回見通しとの差異: 2020年11月6日公表値との差異		
	下期	8.00円	4.50円			
	通期	16.00円	9.00円			
配当性向	通期		37%			

億円

セグメント別連結業績見通し

		20年3月期実績			21年3月期見通し			増減			億円 前回見通しとの差異*
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上収益	繊維	4,223	4,087	8,310	3,302	3,748	7,050	-920	-339	-1,260	—
	機能化成品	3,941	3,671	7,612	3,273	3,827	7,100	-668	+156	-512	+150
	炭素繊維複合材料	1,199	1,170	2,369	893	957	1,850	-306	-213	-519	-50
	環境・エンジニアリング	872	1,036	1,908	782	1,238	2,020	-90	+202	+112	—
	ライフサイエンス	266	265	530	247	283	530	-19	+19	-0	—
	その他	90	92	182	63	87	150	-27	-5	-32	—
	合計	10,591	10,321	20,912	8,561	10,139	18,700	-2,030	-182	-2,212	+100
事業利益	繊維	317	279	596	158	192	350	-158	-87	-246	-10
	機能化成品	332	213	545	241	434	675	-92	+221	+130	+85
	炭素繊維複合材料	118	108	226	▲ 3	▲ 77	▲ 80	-121	-185	-306	-10
	環境・エンジニアリング	38	68	106	40	115	155	+2	+48	+49	+15
	ライフサイエンス	11	▲ 6	5	8	7	15	-2	+13	+10	+5
	その他	14	22	36	6	19	25	-8	-3	-11	+5
	調整額	▲ 115	▲ 143	▲ 258	▲ 109	▲ 131	▲ 240	+6	+12	+18	+10
	合計	714	541	1,255	341	559	900	-373	+18	-355	+100

*前回見通しとの差異:2020年11月6日公表値との差異

セグメント別事業利益見通しの前回との差異

セグメント	通期事業利益(億円) 前回見通し*→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	360→350 (-10)	<ul style="list-style-type: none"> 需要はほぼ前回見通し通りも、原料価格高騰の影響を受ける見通し。
機能化成品	590→675 (+85)	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂事業では、ABS樹脂は中国市場での需要が回復。エンブラは、自動車用途が回復基調。 フィルム事業では、MLCC離型フィルムやディスプレイ用途で拡販を実施。
炭素繊維 複合材料	▲70→▲80 (-10)	<ul style="list-style-type: none"> 航空機用途における大手顧客の生産機数引き下げの影響を見込む。
環境・ エンジニアリング	140→155 (+15)	<ul style="list-style-type: none"> 営業費等のコスト削減を推進。
ライフサイエンス	10→15 (+5)	<ul style="list-style-type: none"> 営業費等のコスト削減を推進。
その他	20→25 (+5)	
調整額	▲250→▲240 (+10)	*前回見通しとの差異:2020年11月6日公表値との差異
合計	800→900 (+100)	

III. 參考資料

2020年3月期第3四半期累計 IFRS適用に伴う影響

億円

20年3月期第3四半期累計(4~12月) 実績				差異	主な差異の内容
日本基準		IFRS			
売上高	16,814	売上収益	15,866	-948	代理人取引の純額表示、収益認識時点の変更
営業利益	1,045	事業利益	1,041	-3	のれんの非償却、営業外収支の組替
税前利益	997	税引前 四半期利益	1,076	+79	のれんの非償却、投資有価証券の評価・売却損益の取消
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	662	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	750	+88	

2020年3月期第3四半期累計 IFRS適用に伴う影響 セグメント別

億円

		20年3月期第3四半期累計 (4~12月) 実績		差異	主な差異の内容
		日本基準	IFRS		
売上高・ 売上収益	繊維	6,822	6,413	-409	<ul style="list-style-type: none"> ・代理人取引の純額表示 ・収益認識時点の変更
	機能化成品	5,891	5,820	-71	
	炭素繊維複合材料	1,802	1,795	-7	
	環境・エンジニアリング	1,768	1,304	-464	
	ライフサイエンス	400	403	+3	
	その他	131	131	+0	
	合計	16,814	15,866	-948	

		20年3月期第3四半期累計 (4~12月) 実績		差異	差異内訳	
		日本基準	IFRS		のれん非償却	その他
営業利益・ 事業利益	繊維	479	480	+0	+0	+0
	機能化成品	480	470	-10	+32	-42
	炭素繊維複合材料	166	181	+15	+48	-33
	環境・エンジニアリング	57	55	-2	+2	-4
	ライフサイエンス	19	16	-3	-	-3
	その他	22	20	-1	-	-1
	調整額	▲ 178	▲ 181	-3	-	-3
	合計	1,045	1,041	-3	+83	-86

2020年3月期 IFRS適用に伴う影響

億円

20年3月期 実績				差異	主な差異の内容
日本基準		IFRS			
売上高	22,146	売上収益	20,912	-1,235	代理人取引の純額表示、収益認識時点の変更
営業利益	1,312	事業利益	1,255	-57	のれんの非償却、営業外収支の組替
税前利益	940	税引前当期利益	1,233	+293	のれんの非償却、投資有価証券の評価・売却損益の取消
親会社株主に 帰属する 当期純利益	557	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	842	+285	

2020年3月期 IFRS適用に伴う影響 セグメント別

億円

		20年3月期 実績		差異	主な差異の内容
		日本基準	IFRS		
売上高・売上収益	繊維	8,831	8,310	-522	<ul style="list-style-type: none"> ・代理人取引の純額表示 ・収益認識時点の変更
	機能化成品	7,708	7,612	-96	
	炭素繊維複合材料	2,369	2,369	-0	
	環境・エンジニアリング	2,523	1,908	-614	
	ライフサイエンス	533	530	-2	
	その他	182	182	+0	
	合計	22,146	20,912	-1,235	

		20年3月期 実績		差異	差異内訳	
		日本基準	IFRS		のれん非償却	その他
営業利益・事業利益	繊維	607	596	-11	+0	-11
	機能化成品	587	545	-42	+43	-85
	炭素繊維複合材料	210	226	+16	+63	-47
	環境・エンジニアリング	112	106	-7	+3	-10
	ライフサイエンス	16	5	-11	-	-11
	その他	34	36	+2	-	+2
	調整額	▲ 255	▲ 258	-4	-	-4
	合計	1,312	1,255	-57	+109	-166

セグメント別四半期売上収益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
繊維	1,958	2,265	2,190	1,897	8,310	1,450	1,852	2,061
機能化成品	1,975	1,966	1,879	1,792	7,612	1,556	1,717	1,926
炭素繊維複合材料	615	584	596	573	2,369	454	439	456
環境・エンジニアリング	418	454	432	605	1,908	372	410	464
ライフサイエンス	125	141	138	127	530	116	131	137
その他	42	49	41	51	182	29	34	37
合計	5,132	5,458	5,275	5,046	20,912	3,976	4,584	5,081

セグメント別四半期事業利益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
繊維	145	172	163	116	596	72	86	122
機能化成品	169	164	138	75	545	81	160	236
炭素繊維複合材料	64	54	63	45	226	17	▲ 20	▲ 34
環境・エンジニアリング	14	24	17	51	106	8	32	40
ライフサイエンス	5	6	6	▲ 11	5	1	8	9
その他	4	9	7	15	36	1	4	12
調整額	▲ 56	▲ 59	▲ 66	▲ 77	▲ 258	▲ 55	▲ 53	▲ 56
合計	345	370	327	214	1,255	125	216	329

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
樹脂・ケミカル	843	796	809	755	3,204	597	719	872
フィルム	794	787	769	760	3,109	694	751	785
電子情報材料	162	193	174	144	674	146	176	176
商事他	1,097	1,002	996	980	4,074	877	868	1,045
修正	▲ 922	▲ 812	▲ 869	▲ 846	▲ 3,449	▲ 757	▲ 797	▲ 952
合計	1,975	1,966	1,879	1,792	7,612	1,556	1,717	1,926

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

IFRS

億円

	20年3月期					21年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
航空宇宙	292	265	268	254	1,078	174	161	148
スポーツ	49	42	44	35	170	32	37	41
一般産業	274	278	284	284	1,120	249	241	267
合計	615	584	596	573	2,369	454	439	456

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

IFRS

億円

		20年3月期					21年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		1,396	1,526	1,583	1,251	5,755	1,111	1,227	1,413
東レエンジニアリング		234	266	261	367	1,127	175	201	244
東レ建設		82	101	81	169	434	55	97	131
東レフィルム加工		93	99	96	87	375	93	85	92
在東南アジア・ 子会社	繊維	347	356	335	319	1,357	187	236	275
	機能化成品	232	215	217	190	854	154	205	246
	その他	0	0	0	1	2	0	0	0
	計	579	571	553	509	2,212	341	441	522
在中国・ 子会社	繊維	506	608	563	375	2,051	401	561	611
	機能化成品	217	191	204	165	777	189	212	251
	その他	91	87	103	67	348	90	89	98
	計	815	886	870	606	3,177	680	862	961
在韩国・ 子会社	繊維	208	206	215	214	843	182	194	199
	機能化成品	387	406	401	372	1,566	312	371	398
	その他	75	72	66	53	266	50	52	59
	計	671	684	681	639	2,675	543	617	656

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

IFRS

億円

		20年3月期					21年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		29	36	36	28	129	19	33	33
東レエンジニアリング		4	7	5	20	36	▲6	▲0	13
東レ建設		▲2	1	▲2	10	6	▲4	7	7
東レフィルム加工		5	7	8	5	26	8	10	11
在東南アジア・ 子会社	繊維	14	13	14	5	48	▲12	▲7	▲7
	機能化成品	19	12	15	16	63	14	42	63
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	33	26	30	22	110	2	35	56
在中国・ 子会社	繊維	56	58	51	30	195	49	50	45
	機能化成品	7	7	9	8	32	10	10	15
	その他	7	7	6	2	23	8	8	9
	計	71	72	66	41	250	67	68	69
在韩国・ 子会社	繊維	5	8	10	7	30	28	24	16
	機能化成品	57	68	64	44	233	45	58	56
	その他	12	10	5	6	34	8	7	6
	計	74	86	79	57	296	81	89	77

ESGに関する社外からの評価

■ CDP



WATER

2020年12月 Water Security: A Climate Change: B

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM ●

2020年11月

「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」のAsia Pacific



FTSE4Good

2020年6月

「FTSE4Good Index Series」

2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2020年7月

「MSCI ESG Leaders Indexes」

■ GPIFが採用する4つのESG指数全ての構成銘柄に選定

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

**本資料中の2021年3月期の業績見通し及び
事業計画についての記述は、現時点における
将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。**

**本資料において当社の将来の業績を保証する
ものではありません。**

TORAY

Innovation by Chemistry